

2019

【第7回チアダンス日本オープン選手権大会】

開 催 要 項

開催日時：令和元年12月8日（日）

13:00～（予定）

開催場所：川崎市スポーツ・文化総合センター



主催：一般社団法人 全日本チアダンス連盟

目 次

1. 大会開催日程	1
2. エントリーデ部分と競技方法	1
3. 大会説明会	3
4. 大会までの手続きの流れ	3
5. エントリーハンドブックに関するガイドライン	5
5. 1 各種書類の入手方法	5
5. 2 エントリー申込方法	5
5. 3 引率者と音楽担当者について	6
5. 4 大会参加費、前売り入場券代金の振込	7
5. 5 チーム写真	8
5. 6 前売り入場券について	8
5. 7 写真・動画の撮影について（撮影許可証の発行）	9
5. 8 演技構成書	10
5. 9 大会使用音楽	10
6. エントリーチームの大会当日について	11
7. お問い合わせ先	11
8. 資料：競技内容・競技規則・審判方法・減点規則	12
8. 1 競技規則	12
8. 1. 1 チアダンス、チアダンス・スマートグループス、 チアダンス・ダブルス	12
8. 1. 2 アーバンチアダンス	14
8. 2 審判方法	16
8. 2. 1 共通事項	16
8. 2. 2 チアダンス、チアダンス・スマートグループス、 チアダンス・ダブルスの審判項目と評価	17
8. 2. 3 アーバンチアダンスの審判項目と評価	17
8. 3 減点規則	19
8. 3. 1 チアダンス、チアダンス・スマートグループス、 チアダンス・ダブルス	19
8. 3. 2 アーバンチアダンス	20

1. 大会開催日程

■開催日	令和元年12月8日（日）13時開始予定
■会 場	川崎市スポーツ・文化総合センター 神奈川県川崎市川崎区富士見1-1-4
■主 催	一般社団法人 全日本チアダンス連盟
■公 認	公益社団法人 日本チアリーディング協会

2. エントリー部門と競技方法

エントリー可能な開催競技は、次のとおりです。（☆の部門）

開催競技名	チーム編成・競技方法
■競技部門	
◆チアダンス部門・・・区分	
☆ジュニア1（小学生）	<ul style="list-style-type: none">1チームにつき学年（年齢）の8名～16名で女子・男子のみ、または男女混合の選手で構成。選手の学年（年齢）が混在している場合は、上位のジュニア2区分（中学生）とする。補欠選手登録は、3名までとする。チアダンス・ジュニア1および2の競技規則及び減点規則を適用する。
☆ジュニア2（中学生）	<ul style="list-style-type: none">1チームにつき高校生以上の8名～16名で女子・男子のみ、または男女混合の選手で構成。補欠選手登録は、3名までとする。チアダンス・シニアの競技規則及び減点規則を適用する。
☆シニア（高校生以上）	<ul style="list-style-type: none">1チームにつき学年（年齢）の2名で、女子のみ、または男女1名ずつの選手で構成。選手の学年（年齢）が混在している場合は、上位のジュニア2区分（中学生）とする。補欠選手登録は、2名までとする。チアダンス・ダブルス・ジュニア1および2の競技規則及び減点規則をそれぞれ適用する。
◆チアダンス・ダブルス部門・・・区分	
☆ジュニア1（小学生）	<ul style="list-style-type: none">1チームにつき高校生以上の2名で、女子・男子のみ、または男女1名ずつの選手で構成。補欠選手登録は、2名までとする。チアダンス・ダブルス・シニアの競技規則及び減点規則を適用する。
☆ジュニア2（中学生）	<ul style="list-style-type: none">1チームにつき学年（年齢）の2名で、女子のみ、または男女1名ずつの選手で構成。補欠選手登録は、2名までとする。チアダンス・ダブルス・シニアの競技規則及び減点規則を適用する。
☆シニア（高校生以上）	<ul style="list-style-type: none">1チームにつき学年（年齢）の3名～7名で女子・男子のみ、または男女混合の選手で構成。選手の学年（年齢）が混在している場合は、上位のジュニア2区分（中学生）とする。補欠選手登録は、3名までとする。チアダンス・ジュニア1および2の競技規則及び減点規則を適用する。
◆チアダンス・スマールグループ部門 ・・・区分	
☆ジュニア1（小学生）	<ul style="list-style-type: none">1チームにつき学年（年齢）の3名～7名で女子・男子のみ、または男女混合の選手で構成。補欠選手登録は、3名までとする。チアダンス・シニアの競技規則及び減点規則を適用する。
☆ジュニア2（中学生）	<ul style="list-style-type: none">1チームにつき学年（年齢）の3名～7名で女子・男子のみ、または男女混合の選手で構成。補欠選手登録は、3名までとする。チアダンス・シニアの競技規則及び減点規則を適用する。
☆シニア（高校生以上）	<ul style="list-style-type: none">1チームにつき学年（年齢）の3名～7名で女子・男子のみ、または男女混合の選手で構成。補欠選手登録は、3名までとする。チアダンス・シニアの競技規則及び減点規則を適用する。

◆アーバンチアダンス部門・・・区分		
☆ジュニア1（小学生）	• 1チームにつき学年（年齢）の8名～16名で女子・男子のみ、または男女混合の選手で構成。選手の学年（年齢）が混在している場合は、上位のジュニア2区分（中学生）とする。 • 補欠選手登録は、3名までとする。 • アーバンチアダンス・ジュニア1および2の競技規則及び減点規則を適用する。	
☆ジュニア2（中学生）		
☆シニア（高校生以上）	• 1チームにつき高校生以上の8名～16名で女子・男子のみ、または男女混合の選手で構成。 • 補欠選手登録は、3名までとする。 • アーバンチアダンス・シニアの競技規則及び減点規則を適用する。	
☆エキシビション	<ul style="list-style-type: none"> • 自由参加 ● チアダンス ● アーバンチアダンス ● 一輪車ダンス ● その他ダンスジャンル 	

＜共通事項＞

- 学校団体、クラブチームのいずれもエントリーできる。
- 1つの団体から、全ての競技部門・区分（ジュニア1、ジュニア2、シニア）に、其々2チームまでエントリーできる。
- 1人が複数のチームにエントリーすることはできない。ただし、同一団体のチアダンスとダブルスに其々エントリーすることはできる。
- 競技部門は、部門・区分（ジュニア1、ジュニア2、シニア）別に表彰する。
- 競技部門は、チアダンスの中で総合得点の高いチームをチアダンス総合優勝とする。
- 各競技部門とも、エントリーチーム数が少數の場合は、順位を設けず採点のみ、とする場合がある。

＜エキシビションの留意事項＞

エキシビションにおける演技規定は、次のとおりとする。（チアダンス及びアーバンチアダンスを除く：注1）

- 演技時間　：2分30以内（音源CD）
- 演技エリア　：12m四方
- 衣装　　：自由（身体活動が評価しやすい物）

注1：チアダンス及びアーバンチアダンスの演技は、当該規則に従うものとする。

3. 大会説明会

日程	内容	申込方法・期限
<p><1回目></p> <p>日時：令和元年9月7日（土） 9:30～11:30（受付9:00） 会場：国立オリンピック青少年総合センター センター棟509号室 東京都渋谷区代々木神園町3-1 電話03-3469-2525</p>	<p>●大会エントリー及び競技内容について説明し、資料を配布します。</p> <p>●どちらかの回の参加をお願いします。</p> <p>※遠方、都合などにより、参加できない場合は、資料を送付しますので、その旨お知らせください。</p>	<p>●申込方法</p> <p>●連盟ホームページの「お問い合わせ／各種申込み」から申込</p> <p>●メールで申込 E-mail: taikai@ajodf.or.jp (大会専用アドレス)</p> <p>●電話で申込 (03-3401-6838 : 全日本チアダンス連盟事務局)</p>
<p><2回目></p> <p>日時：令和元年9月14日（土） 9:30～11:30（受付9:00） 会場：国立オリンピック青少年総合センター センター棟508号室 東京都渋谷区代々木神園町3-1 電話03-3469-2525</p>		<p>●申込期限</p> <p>●1回目 令和元年9月6日（金）</p> <p>●2回目 令和元年9月13日（金）</p>

4. 大会までの手続きの流れ

手続名	期限	内容	提出方法等
<p><エントリーの方向></p> <p>エントリー申込</p>	<p>令和元年 10月11日(金)</p>	<p>●エントリーシートの提出</p> <p><エントリーシートの入手方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・連盟ホームページからダウンロード ・メールで申込 (E-mail : taikai@ajodf.or.jp) この場合、「送付方法、住所・責任者名・電話番号・E-mail」お知らせください。 ・電話で申込 (03-3401-6838 : 全日本チアダンス連盟事務局) 	<p>●提出方法</p> <p><Eメールの場合> E-mail : taikai@ajodf.or.jp (大会専用アドレス) へ添付 ファイルで送信</p> <p><郵送の場合> 送付先： 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 全日本チアダンス連盟</p>

<p><エントリー団体 → 連盟></p> <p>各種申込等の提出</p>	<p>令和元年 11月8日(金)</p>	<p>●チーム写真 ●撮影許可発行申込書 ●前売り入場券申込書</p> <p><各種申込書の入手方法> エントリーシートに同じ(別掲)</p>	<p>同上</p>
<p><エントリー団体 → 連盟></p> <p>大会参加費振込</p>	<p>令和元年 11月8日(金)</p>	<p><大会参加費について></p> <p>①選手参加費： 加盟団体：選手1名につき1,000円 非加盟団体：選手1名につき2,000円 エキシビションで20名以上出場の場合は、 20名分とする。</p> <p>②音楽著作権料：1チームあたり2,000円</p>	<p>●振込先 銀行名：三菱UFJ銀行 支店名：青山通り支店(084) 普通口座：0134881 名義名：一般社団法人 全日本チアダンス連盟</p>
<p><エントリー団体 → 連盟></p> <p>前売り入場券代金の振込 (購入の場合)</p>		<p><前売り入場券について></p> <p>①価格：1枚 2,000円 ②送料：500円</p>	
<p><エントリー団体 → 連盟></p> <p>大会使用音楽記入用紙、 演技構成書の提出</p>	<p>令和元年 11月15日(金)</p>	<p>●大会使用音楽記入用紙 ●演技構成書(競技部門のみ)</p> <p><大会使用音楽記入用紙の入手方法> エントリーシートに同じ(別掲)</p>	<p>●提出方法 <Eメールの場合> E-mail: taikai@ajcdf.or.jp (大会専用アドレス)へ添付 ファイルで送信 <郵送の場合> 送付先： 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 全日本チアダンス連盟</p>
<p><連盟 → エントリー団体></p> <p>「大会要領」をエントリーチームへ送付</p>	<p>令和元年 11月中旬 (エントリーチーム確定後)</p>	<p><大会要領> 大会当日のスケジュール、エントリーチーム一覧、伝達・注意事項 ※スケジュール等に変更が生じた場合は、メール及び連盟ホームページにてお知らせします。</p>	<p>●送付方法 <Eメール> または <郵送></p>

5. エントリー手続きに関するガイドライン

5. 1 各種書類の入手方法

エントリーにあたっては、各種の書類等を提出して頂きます。入手方法は次のとおりです。

書類一覧	入手方法
◆エントリーシート ◆撮影許可証発行申込書 ◆前売り入場券申込書 ◆演技構成書 ◆大会使用音楽記入用紙	<p>●連盟ホームページからダウンロード。 (EXCEL またはWORD、及びPDF形式) <URL : http://www.ajcdf.or.jp/taikai2017.htm> •EXCEL版、WORD版の取り扱い ダウンロード後、テキストデータを入力し、メールの添付ファイルで提出してください。印刷し、郵送でも可能です。 •PDF版の取り扱い ダウンロードし印刷した後、手書きで記入し、郵送またはスキャンしてメール添付で提出してください。</p> <p>●メールで申込。 <E-mail : taikai@ajcdf.or.jp (大会専用アドレス)> この場合、「書類形式 (EXCEL、PDFなど)、送付方法 (メール、郵送、FAXなど)、住所・責任者名・電話番号・E-mail」をメール本文でお知らせください。</p> <p>●電話で申込。 <TEL : 03-3401-6838 全日本チアダンス連盟事務局> 書類の形式 (EXCEL、PDFなど)、送付方法 (メール、郵送、FAXなど) を確認します。</p>

5. 2 エントリー申込方法

エントリー申込にあたっては、エントリーシートを提出してください。

■エントリーシートの提出方法

<Eメールの場合> E-mail : taikai@ajcdf.or.jp (大会専用アドレス) へ添付ファイルで送信

<郵送の場合> 送付先 : 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE
全日本チアダンス連盟

■出場選手および弓率者(顧問等)・音楽担当者をあわせて登録する。

■エントリーの辞退と部門変更について

◆エントリー申込から大会開催前日まで

●チームがエントリーを辞退する場合

一連盟事務局へ電話連絡の上、原則として大会開催日の7日前までに理由書を連盟宛に提出すること。

エントリー辞退やむなしと認められた場合のみ許可される。認められない場合は、次に開催される大会へのエントリーを停止する場合がある。

※エントリー辞退が認められる場合の例・・・公傷の怪我と認められる場合

●出場選手の変更によりエントリー部門を変更する場合

一連盟事務局へ電話連絡の上、理由書を連盟宛に提出すること。

例：出場選手8名が7名以下へ減少することにより、スマールグループ又はエキシビションへの部門変更

注) 出場選手の追加によるエントリー部門の変更は認められない。

◆大会当日について

直ちにその状況を大会本部に報告し、大会最高責任者がやむなしと認めた場合のみ許可される。

■チーム内出場選手を追加・変更する場合

◆エントリーシート（出場選手）を再提出する。

◆大会開催日7日前を過ぎた場合、出場選手人数の追加は認められない。

5. 3 引率者と音楽担当者について

引率者とは、大会当日、チーム及び選手の管理責任を担う者です。また、音楽担当者とは、自チームの演技の音楽について責任を担う者です。

■各チームは、引率者1～2名、及び音楽担当者各1名を出場選手以外から選出し、エントリーシートで登録する。

■同一団体より複数チームがエントリーする場合の引率者及び音楽担当者は重複してもよい。

■登録可能人数

出場競技種目	「チアダンス」、「スモールグルーブス」、「アーバンチアダンス」のいずれか。	「チアダンス」、「スモールグルーブス」、「アーバンチアダンス」のいずれかと「ダブルス」	「ダブルス」のみ
引率者	1チームにつき1名	「チアダンス」、「スモールグルーブス」、「アーバンチアダンス」の1チームにつき1名	1チームにつき1名
音楽担当者	1チームにつき1名	1チームにつき1名	1チームにつき1名

※引率者は、エキシビションにおいて、メンバーが小学生以下のみ20名以上の場合、2名とすることができます。この場合、大会事務局に、別途、申し出てください。

■大会当日について

◆選手受付時間に選手と一緒に入場すること。

◆受付時、引率者並びに音楽担当者は身分証明証の提示を必要とする。引率者証及び音楽担当者証を首から提げるタイプのパスケースに入れ、退場時まで提げること。正しく提示していない場合は、選手席・アップ場への立ち入りは禁止。

◆引率者または音楽担当者が複数のチームを担当する場合、引率者証または音楽担当者証は1枚のみ発行される。

◆引率者及び音楽担当者は上履きを準備。

◆引率者は基本的に選手に同行し、貴重品、携行品の管理をするとともに選手とともに着席する。

◆音楽担当者は、自チームのリハーサル・本番演技時に音楽の頭出しから全て操作（再生／停止）を行う。音楽の操作は音響席で行う。

◆音楽担当者は、入場後、音響席に集合（本番と予備のCD持参）し、自チームの使用音源の事前チェックを行う。トラブル発生の場合は次の手順による。

（勝手にCD交換は不可）⇒実行委員に告知⇒審判委員長に報告⇒OK⇒差し替え。

音のチェック後選手席で待機。

◆音楽担当者の操作ミスはチーム側の過失となる。演技に影響を及ぼす時間規則違反等の減点対象とならないよう、十分に練習を行うこと。

◆一般客入場後、選手同様、引率者並びに音楽担当者の一般客席への立ち入りは一切禁止。

5. 4 大会参加費、前売り入場券代金の振込

大会参加費、前売り入場券代金（購入の場合）を納入期限までに、指定口座へ手数料ご負担の上お振込ください。なお、大会参加費と前売り入場券代金のお振込みは、一括または其々、いずれの方法でも可能です。

■大会参加費

◆選手参加費

当連盟の加盟団体： 1名につき 1, 000円

// 非加盟団体：1名につき 2, 000円

※エキシビションのエントリーで1チーム20名以上の参加の場合は、20名分の参加費とする。

◆音楽著作権料 部門に関わらず1チームにつき 2, 000円

<振込方法について>

●各団体名で、音楽著作権料と選手参加費の人数分をまとめて振込むこと。

（複数チームエントリーの場合もまとめて振込むこと）

●振込後、出場選手人数が増える場合は、追加登録人数分を振込むこと。

●振込後、出場選手人数の減少、あるいはチームのエントリー辞退の場合であっても、原則返金は行われない。

■前売り入場券代金

◆価格：1枚 2, 000円

◆送料：500円（郵送希望の場合）

<振込方法について>

●各団体名で、入場券の枚数分の代金と送料をまとめて振込むこと。

●振込後、枚数が増える場合は、追加枚分を振込むこと。

●振込後、枚数の減少があっても、原則返金は行われない。

■振込先

銀行名	：三菱 UFJ 銀行
支店名	：青山通り支店（084）
普通口座	：0134881
名義名	：一般社団法人 全日本チアダンス連盟

5. 5 チーム写真

大会プログラム掲載用として、チーム写真（横長に限る）1枚を提出してください。

■プリント写真または画像データ（JPEG、PDFなど）のいずれも可。

■写真面を文字等により加工／細工されたものは不可。

■写真は、大会の運営目的のみに使用し、大会事務局で厳重に管理する。

■提出の方法

<Eメールの場合> E-mail : taikai@ajcdf.or.jp (大会専用アドレス) へ添付ファイルで送信

<郵送の場合> 送付先：〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE
全日本チアダンス連盟

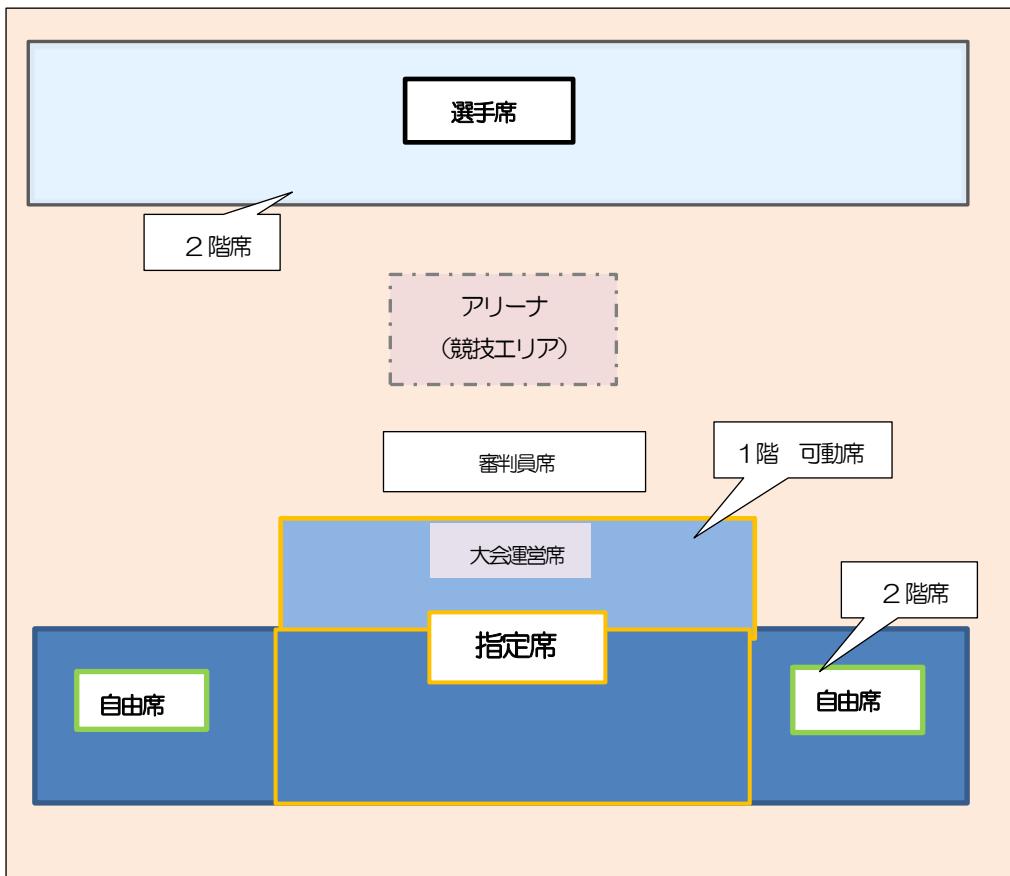
5. 6 前売り入場券について

前売り入場券を購入することができます。

- 入場券価格 : 前売り入場券（指定席 2,000円）
当日入場券（自由席 2,000円）

＜指定席について＞

指定席の場所は、申込受付順をもとに、連盟事務局により割り振りさせていただきます。場所予約の希望は受けかねますのでご了承ください。



■購入申込の方法

前売り入場券申込書により申し込む。

＜Eメールの場合＞ E-mail : taikai@ajcdf.or.jp (大会専用アドレス) へ添付ファイルで送信

＜郵送の場合＞ 送付先 : 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE
全日本チアダンス連盟

■留意事項

- ◆入場券は必要枚数のみ申込むこと。
- ◆枚数制限は設けない。
- ◆申込書は、必ず団体で1枚にまとめること。（チーム単位・個人単位での申込は不可）
- ◆申込受付期間終了後の入場券キャンセル・変更は不可。
- ◆確保された入場券は、入金確認後に郵送する。

5. 7 写真・動画の撮影について（撮影許可証の発行）

一般入場者による大会の会場内での写真撮影およびビデオカメラ等による動画の撮影は、エントリー団体の関係者のみに限る許可制としています。そのため、エントリー団体からの申込により、「撮影許可証」を発行しています。

※これは、選手の肖像権を保護し、安全・円滑な競技運営を確保するための措置です。なお、肖像権は連盟が所有します。

■撮影許可証発行申込の方法

撮影許可証発行申込書により申し込む。

＜Eメールの場合＞ E-mail : taikai@ajodf.or.jp (大会専用アドレス) へ添付ファイルで送信

＜郵送の場合＞ 送付先 : 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE
全日本チアダンス連盟

■留意事項

- ◆エントリー団体のみ申込み可。
- ◆申込み可能な撮影許可証枚数は、1チームにつき出場選手の人数分までとする。
- ◆上限を超えて申し込む場合は「追加撮影許可証発行申込書」で手続きを行うこと。但し、発行手数料として1枚につき300円が必要となる。振込は撮影許可証発行申込み締切日の一週間後までに行うこと。
- ◆撮影許可証1枚につき、機材は1台のみ有効。
- ◆撮影許可証は申請大会期間中のみ有効。

■撮影許可証の発行・送付方法

撮影許可証を連盟事務局が作成し、申込者に郵送する。前売り入場券がある場合は、同便で発送。

■大会当日の撮影について

◆一般入場者の撮影

- 一般入場券による入場者が以下に該当する撮影を希望する場合、連盟の発行する撮影許可申証を必要とする。
★動画撮影（ビデオカメラ、タブレット端末、スマートフォン等を含む）。
- 撮影許可証は、申込み団体が責任を持って管理し、撮影方法や注意事項等の伝達を徹底する。
- 撮影許可を受けた場合も、不適切な撮影が認められた際は、主催者側の判断で撮影の中止を求める。
- 撮影許可証の当日再発行は一切しない。許可証の受渡しは事前に済ませ、当日忘れないよう注意すること。
- 撮影許可証に記載された氏名を確認するため、身分証明書の提示・照合が必要。氏名が合致しない場合は、許可証は無効となる。
- 撮影許可証は、大会当日、首から下げるタイプのパスケースに折らずに入れて、入場時から退場時まで提げておくこと。許可証を正しく提示していない場合は、その許可証は無効となる。
- 大会当日、許可を受けていない者がカメラ並びにビデオカメラを持参した場合、会場入口で預かり・保管する。スマートフォンやタブレット端末は預かりの対象とはしないが、撮影許可証がない場合の撮影及び動画撮影は禁止。
- 許可を受けずに撮影した場合、記録メディアは理由の如何に問わらず、連盟の所有物として回収（没収）する。

◆選手・引率者の撮影

- 選手受付で入場した者の撮影を許可する（撮影許可証不要）。但し、一般客入場後は、決められた選手席での撮影のみ可能（観客席等での撮影は一切禁止）。

◆共通の留意事項

- 演技中のフラッシュ撮影は一切禁止（選手席でのフラッシュ撮影はいかなる場合も禁止）。
- 撮影は選手・一般客共に必ず自席で行うこと。通路等での撮影は一切禁止。
- 会場内の電源コンセントは使用不可。

5. 8 演技構成書

演技の構成書を提出して頂きます。(競技部門のみ必要。競技により様式が異なります。)
これは、演技において規定要素(必ず組込む内容)が競技規則のとおり構成されているか、を大会実行委員会が事前に確認するために提出して頂くものです。構成内容が競技規則に照らし不十分な場合には、大会実行委員会により演技構成の事前指導を行うとともに構成書を再提出して頂く場合があります。

■提出物

◆演技構成書：1エントリーごとに1枚必要

- 様式：・チアダンス用及びスマールグループ用
・ダブルス用
・アーバンチアダンス用

■提出方法

＜Eメールの場合＞ E-mail : taikai@ajcdf.or.jpへ添付ファイルで送信

＜郵送の場合＞ 送付先：〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE
全日本チアダンス連盟

■留意事項

◆競技部門にエントリーしても演技構成書が確認できない場合は、エキシビションへのエントリーとなる。

5. 9 大会使用音楽

大会の演技で使用する音楽記入用紙を提出して頂きます。

今大会から、大会使用音源(CD)の事前提出手続きは行わないこととします。(ただし、大会使用音楽記入用紙の提出は行ってください。) 大会当日は、音源を忘れずに持参してください。

■提出物

◆大会使用音楽記入用紙

■提出方法

＜Eメールの場合＞ E-mail : taikai@ajcdf.or.jpへ添付ファイルで送信

＜郵送の場合＞ 送付先：〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE
全日本チアダンス連盟

■音楽録音時の留意事項

- ◆無音でのスタートは不可。
 - ◆音が鳴り始めたところからスタートとする。(演技始めの音なしは不可)
 - ◆演技の途中、無音の効果を狙う場合は、あらかじめ無音の秒数をCDに収録しておく。
 - ◆音楽のジャンル、歌声の有無、使用曲数等、特に規制はないが、歌詞の内容等、チアダンス競技に不適当な音楽を使用してはならない。
 - ◆提出期限後の使用音源の変更は認められない。
 - ◆必ず一つの新しいCDに使用音楽のみ録音すること。
 - ◆雑音等が入らないよう、最大限音質よく、左右のレベルをあわせて録音すること。録音・編集には性能の優れた機材を使用することが望ましい。当日の音量調節は基本的に不可能なため録音時の音量には特に注意すること。
 - ◆大会当日、本番用音源(CD)予備用(CD)を必ず持参すること。
- 使用する機材との相性により、CDを読み込めない場合がございます。必ず複数のCDを準備してください。

6. エントリーチームの大会当日について

■会場への入場・退場について

大会出場選手・引率者・音楽担当者は、決められた選手受付時刻に全員まとまって会場へ入場し、決められた解散時刻に全員まとまって退場してください。

■留意事項

- ◆怪我や事故発生がないように十分注意し、万が一事故が発生した場合は、実行委員に即時連絡してください。
- ◆手荷物置き場がないので選手席で自己管理をし、客席から荷物が煩雜に見えないように足元に置いて下さい。
- ◆食事場所は、選手席並びに選手席側通路（ただし、一般客入場まで。飲み物は、入場以降も可）、および選手更衣室とさせて頂きます。
- ◆一般客入場後の観客席への立ち入りは、一切禁止です。
- ◆一般客入場後、衣装のままで大会記念品販売ブースへの立ち入りは禁止とさせて頂きます（衣装の上に、上下ともにTシャツやウォーミングアップスーツ等を着用し、休憩時間内に利用して下さい）
- ◆会場の片づけを選手・実行委員全員で行いましょう。
- ◆感染症予防について
 - インフルエンザ、胃腸炎等の感染症の疑いがある場合は、出場を控えてくださるようお願いいたします。
 - 各自、手洗い・うがい等感染症予防を徹底して下さい。
 - 自チームの演技本番中、リハーサル中を除き、マスク着用は可能です。また、感染の可能性のある症状がある場合は、感染拡大につながりますので、早急に帰宅して頂くようお願いいたします。

7. お問い合わせ先

【一般社団法人 全日本チアダンス連盟 事務局】

住 所：〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE

TEL : 03-3401-6838

E-mail : taikai@ajodf.or.jp (大会専用アドレス)

ホームページ : <http://www.ajodf.or.jp> をご覧ください。

8. 資料：競技規則・審判方法・減点規則

8. 1 競技規則

8. 1. 1 チアダンス、チアダンス・スマールグループス、チアダンス・ダブルス

【チアダンス、チアダンス・スマールグループス】			
項目/部門	シニア(16歳以上) 高校生以上	ジュニア2(12~15歳) 中学生	ジュニア1(7~12歳) 小学生
競技人数	チアダンス：8名～16名(補欠3人まで)、チアダンス・スマールグループス：3名～7名(補欠3人まで)		
	男女ともに出場可能(男性の人数は半数を越えてはいけない)		
競技時間	2分15秒～2分30秒以内		
入場時間	30秒以内		
競技エリア	12m×12m		
衣装	原則として自由であるが、選手の身体能力が評価されやすいようにする。		
ポン	ポンを持っての演技は、継続的に演技の1/3以上使用。		
	女子は全員ポンを持たなければならない。男子は持つても持たなくても良い。		
規定要素			
(必ず組み入れなければならない要素：同じ動きを同時に、または波状的に実施)	・ピュリエット・ターン(Diff.2) 1つはダブルピュリエット・ターン	・1回のダブルピュリエット・ターン	・1回のシングルピュリエット・ターン
	・ハイキック (Diff.3) 左右、前後どれでも	・ハイキック (Diff.2) 左右、前後どれでも	・ハイキック (Diff.2) 左右、前後どれでも
	・スプリット (1) ・チアジャンプ (Diff.3)	・スプリット (1) ・チアジャンプ (Diff.2)	・スプリット (1) ・チアジャンプ (Diff.2)
	・リープ (Diff.2)	・リープ (Diff.2)	・リープ (1)
	・チアアームモーション(最低8カウント)		
【チアダンス・ダブルス】			
項目/部門	シニア(16歳以上) 高校生以上	ジュニア2(12~15歳) 中学生	ジュニア1(7~12歳) 小学生
競技人数	2名(補欠2名まで)		
	男女とも出場可能		
競技時間	1分15秒～1分30秒以内		
入場時間	30秒以内		
競技エリア	12m×12m		
衣装	原則として自由であるが、選手の身体能力が評価されやすいようにする。		
ポン	ポンを持っての演技は、継続的に演技の1/3以上使用。		

	女子は全員ポンを持たなければならない。男子は持つても持たなくても良い。		
規定要素			
(必ず組み入れなければならない要素:同じ動きを同時に、または波状的に実施)	・ピュリエット・ターン(Diff.2) 1つはダブルピュリエット・ターン	・1回のダブルピュリエット・ターン	・1回のシングルピュリエット・ターン
	・ハイキック (Diff.3) 左右、前後どれでも	・ハイキック (Diff.2) 左右、前後どれでも	・ハイキック (Diff.2) 左右、前後どれでも
	・スプリット (1)	・スプリット (1)	・スプリット (1)
	・チアジャンプ (Diff.3)	・チアジャンプ (Diff.2)	・チアジャンプ (Diff.2)
	・リープ (Diff.2)	・リープ (Diff.2)	・リープ (1)
	・チアアームモーション (最低8カウント)		

■ 競技内容

- ◆ 音が鳴り始めたところからスタートとする。 (演技始めの音なしは不可)
- ◆ 音楽、動きが終了した時点で演技の終わりとする。
- ◆ 演技は様々な種類のダンスを含むことができる。 (ジャズ、ファンク、ポップ、リリック、ノベルティ等)
- ◆ ポン以外の手具は禁止。
- ◆ ポンの動きはシャープで力強く表現する。
- ◆ 12m 四方の空間を偏らないように空間構成を考える。
- ◆ チームの個性的表現性を工夫し完成度を高める。
- ◆ ダンスのジャンル(スタイル)には特に制限がないが、競技には、必ず次の規定要素を同時に、又は波状的に全員で行う。 部門で規定要素が異なる。(競技規則を参照)

●ピュリエット・ターン

- ハイキック
- スプリット
- チアジャンプ
- リープ

●チアのアームモーション

- ◆ 前転・後転・横回転、ブリッジ、腰が一時的に肩の上にくるモティファイ倒立(倒立て止まらない)、「ウォーム」「ネックスタンド」「キャンドル」などのブレイクダンス要素は実施可能。
- ◆ 地面上で座った状態やクラウチングの状態で相手を支える動作/最低、片足で立った状態で相手にもたれかかる動作は実施可能。
- ◆ ポンの動きはシャープで力強く表現する。
- ◆ チアやチャント(チアリーディングのような声出し)、スタンツ、タンブリング、ピラミット、アクロバティック動作動作(お尻が肩を越える動作)は禁止。

■ 安全規則

- ◆ 倒立、側転、飛び込み前転、バク転などのタンブリングは禁止。
- ◆ 腰が肩を越えるモティファイ倒立禁止。
- ◆ ダンスリフト、スタンツは禁止。

- ◆ ジャンプ・リープは相手の体（どの部分でも）を飛び越えることが出来ない。
- ◆ 体のどのパートでも選手同士がぶつかった場合は、危険な演技構成であると判断される。
- ◆ 部門ジュニア1では、ジャンプ後にスプリットや膝で着地してはならない。
- ◆ 衣装は競技の安全性を高めるために、その一部分が床に落ちないようにする。
- ◆ 審判員が危険と判断した動作については、その都度減点。動きの安全性に疑問がある場合、事前に連盟に確認する。
- ◆ ギブス等で体を安全に固定した状態、硬い素材や器具のついたサポーターを身に着けた状態で競技参加は、基本的に認められない。使用する場合は事前に申請を必要とする。

■ 競技中の中断・再開

- ◆ 競技中、選手の怪我により審判委員長が演技の続行が危険、もしくは不可能と判断した場合、競技を中断させることがある。
- ◆ 競技の途中、競技者が何らかの理由で演技を中断しエリア内から出た場合は、演技を中断したと見なし、途中で棄権したものとする。
- ◆ 演技中に停電、機器のトラブルで、主催者側に責任がある場合は、審判委員長の判断で演技の中断、再開をする。

■ 衣装（ユニフォーム）

- ◆ ダンスに適切なものであること。シースルーの素材は不可。しかし、ユニフォームの一部防肌色のものは可。
- 下着は見えないようにする。取り外しの可能なものは不可。露出度の高いものは不可。

■ シューズ

- ◆ ジャズシューズ、バレエシューズ、布シューズ、一般的な運動靴などのシューズを使用。
- ◆ 同じ色のシューズを着用。

■ 髪

- ◆ ボブよりも長い場合は結ぶ。アレンジは可能だが視界を妨げてはならない。フラットピンのみ使用可。

■ その他

- ◆ アクセサリーは禁止
- ◆ ストッキング、帽子、手袋の使用禁止。

8. 1. 2 アーバンチアダンス

定義：アーバンチアダンスは下記が含まれるチアリーディングの特徴あるダンスである。

- ① ヒップホップ：ブレーキング、ポッピング、ハウダンス、エレクトロダンス、リリカルダンスなどアーバンダンスのコンビネーションダンスであり、必須要素を含んで創作する。
- ② アクロバティック動作とダンスリフトを使う。（ダブルスではダンスリフトを除く）
- ③ チアスピリット、パワー、エナジー、ポジティブさを表現する。
- ④ ポンポンを必ず持つて演技する。（指定された時間）
- ⑤ アーバンチアダンスは、ポンのみ使用可能である。

【アーバンチアダンス】

項目/部門	シニア(16歳以上) 高校生以上	ジュニア2(12~15歳) 中学生	ジュニア1(7~12歳) 小学生
競技人数	8名~16名(補欠3人まで)		
	男女ともに出場可能(男性の人数は半数を越えてはならない)		
競技時間	2分15秒~2分30秒以内		
入場時間	30秒以内		
競技エリア	12m×12m		
衣装	原則として自由であるが、選手の身体能力が評価されやすいようにする。		
ポン	ポンを持っての演技は、継続的に演技の30秒以上使用。		
	女子は全員ポンを持たなければならない。男子は持つても持たなくても良い。		
規定要素			
(必ず組み入れなければならない要素:同じ動きを同時に、または波状的に実施)	・ヒップホップ(最低3種類)		
	・スプリット(前後・左右から最低1種類)		
	・チアジャンプ(最低2種類)		
	・ダンスリフト(最低2種類)		
	・チアアームモーション(最低8カウント)		

■ 競技内容

- ◆ 演技をはじめる前は完全に停止しなければならない。
 - ◆ 音が鳴り始めたところからスタートとする。(演技始めの音なしは不可)
 - ◆ 音楽、動きが終了した時点で演技の終わりとする。
 - ◆ アーバンチアダンスの定義を理解し、規定要素を満たさなければならない。
 - ◆ ヒップホップとはブレーキング、ポッピング、パウスダンス、エレクトロダンス、リリカルダンスなどをいう。
 - ◆ アクロバティック動作とダンスリフトを使う。(ダブルスではダンスリフトを除く)
 - ◆ リフトとは片方の選手の両足が地面から離れ、他の選手と支持しながら行う動きや姿勢の事。
 - ◆ チアやチャント(チアリーディングのような声出し)は禁止。
 - ◆ 規定要素のテクニックは必ず競技者全員で同時に又は波状的に行う。
 - ◆ ポン以外の手具は禁止。
 - ◆ ポンの動きはシャープで力強く表現する。
 - ◆ 12m四方の空間を偏らないように空間構成を考える。
 - ◆ チームの個性的表現性を工夫し完成度を高める。
- ※ 入退場時にタンブリング・ジャンプを禁止。

■ 安全規則

- ◆ 禁止事項: アクロバティック動作で演技を開始する事。
- ◆ アクロバティック動作とは、後方または前方軸に回転する動作の事。

(例：宙返り、ハンドスプリング、ロンダード等)

- ◆ トスは禁止。
- ◆ ジャンプは他の選手を飛び越えてはならない。
- ◆ 体のどのパートでも選手同士がぶつかった場合は、危険な演技構成となり減点される。
- ◆ ジュニア1の部門は、ジャンプ後にスプリットや膝での着地を禁止。
- ◆ 審判員が危険と判断した動作については、その都度減点。
動きの安全性に疑問がある場合、事前に連盟に確認する。
- ◆ ギブス等で体を安全に固定した状態、硬い素材や器具のついたソーターを身に着けた状態での参加は、基本的に認められない。使用する場合は事前に申請を必要とする。

■ 競技中の中断・再開

- ◆ 競技中、選手の怪我により審判委員長が演技の続行が危険、もしくは不可能と判断した場合、競技を中断させることがある。
- ◆ 競技の途中、競技者が何らかの理由で演技を中断しエリア内から出た場合は、演技を中断したと見なし、途中で棄権したものとする。
- ◆ 演技中に停電、機器のトラブルで、主催者側に責任がある場合は、審判委員長の判断で演技の中断、再開をする。

■ 衣装（ユニフォーム）

- ◆ クレジットカードのサイズを超えない限り、チームはスポンサーのロゴ/パッチ/名前をユニフォームに表示できる。約2×3インチ。
- ◆ ダンスに適切なものであること。シースルーの素材は不可。しかし、ユニフォームの一部が肌色のものは可。
下着は見えないようにする。取り外しの可能なものは不可。露出度の高いものは不可。

■ シューズ

- ◆ ジャズシューズ、布シューズ、一般的な運動靴などのシューズを使用。
- ◆ 同じ色のシューズを着用。

■ 髪

- ◆ ポブよりも長い場合は結ぶ。アレンジは可能だが視界を妨げてはならない。フラットピンのみ使用可。
- ◆ 髪の色は自然の色。

■ その他

- ◆ アクセサリーは禁止。
- ◆ ストッキング、帽子、手袋の使用禁止。
- ◆ 保険に加入すること。

8. 2 審判方法

8. 2. 1 共通事項

- ◆ 審判員1人100点。(ダブルスは、50点)
- ◆ 5名の審判員により、最高と最低を取り除いた3名の合計300点満点(ダブルスは、150点)で審査する。
- ◆ 審判内容についてはルールにのっとり得点を加点する。減点があった場合は総合得点から減点する。
- ◆ 動きはシャープで力強く且つ同調性が高いと加点になる。
- ◆ 入退場違反：セットの時間は30秒以内(入退場で演技をしてはならない)。

8. 2. 2 チアダンス、チアダンス・スマールグループス、チアダンス・ダブルスの審判項目と評価

チアダンス、チアダンス・スマールグループス		チアダンス・ダブルス	
審判項目	評価	審判項目	評価
1. テクニック		1. ダンスの表現	10
①ダンスの表現	10	2. 規定要素（技術）	10
②ピュリエット/ターン	10	①ピュリエット/ターン ②スプリット/ハイキック ③チアジャンプ ④リープ ⑤チアアームモーション	
③スプリット/ハイキック	10		
④チアジャンプ	10		
⑤リープ	10		
⑥チアアームモーション	5		
2. 演技構成		3. 規定要素（難易度）	10
①難易度	10	4. 演技構成	10
②視覚的効果	10	①演技の流れ ②フォーメーション/トランジション ③音楽の使用法 ④視覚的効果 ⑤シンクロナイゼーション（同時性）	
③演技の流れ	5		
3. 実効性		4. 全体評価	10
①フォーメーション/トランジション	10		
②シンクロナイゼーション（同時性）	10		
合 計	100	合 計	50

◆演技内容には必ず

①ダブルピュリエット/ターン・ピュリエット/ターン ②スプリット・ハイキック ③チアジャンプ ④リープ

⑤チアアームモーションを必ず入れる事。

※①～⑤の内容が欠けた場合は減点する。

8. 2. 3 アーバンチアダンスの審判項目と評価

アーバンチアダンス	
審判項目	評価
1. テクニック	
①ダンスの表現 様々なスタイルのダンステクニック、アイコンタクト、表情、熱意、精神、観客へのアピール	10
②ヒップホップ 変化があること、テクニック、難易度、コンビネーション、身体の使い方	10

③柔軟性 ボディコントロール、テクニック、シャープさ、難易度、コンビネーション	10
④チアジャンプ パワー、スピード、テクニック、難易度、コンビネーション	10
⑤ダンスリフト 変化がある、テクニック、難易度、コンビネーション	10
⑥ダンスマームーション シャープさ、スピード、正確さ、創造性、同時性、配置	5
2. 演技構成	
①難易度 チーム全てのメンバーで、関連要素のむずかしさ、各選手のスキル、強度、スピード、集中力の有るルーチン、リズムの変化	10
②視覚的効果 ダンスマイルの多様性、アクロバットの要素、スタイル変更の有効性、独創性、テクニック、ポンポンの有効性	10
③演技の流れ フロアの空間構成、スピード、迫力、バランス、移り変わり、ダンスマイルの適切性、音楽との融合、エネルギー、間隔	5
3. 実効性	
①フォーメーション／トランジション 間隔、多様性、完成度、レベルチェンジ、スムーズな変化	10
②シンクロナイゼーション（同時性） 正確さ、一貫性、難易度、完成度、シャープさ、パワー	10
合 計	100

◆演技内容には

①ヒップホップ ②スプリット ③チアジャンプ ④ダンスリフト ⑤チアアームモーションを必ず入れる事。

※①～⑤の内容が欠けていた場合は減点する。

8. 3 減点規則

8. 3. 1 チアダンス、チアダンス・スマールグループス、チアダンス・ダブルス

シニア：S ジュニア2：J2 ジュニア1：J1

減点内容	チアダンス、 チアダンス・スマ ールグループス		チアダンス・ダブルス	
	S/J2	J1	S/J2	J1
1 ●時間規則違反（演技時間） チアダンス：2分15秒～2分30秒まで チアダンス・ダブルス：1分15秒～1分30秒まで	-10	-5	-2	-2
●時間規則違反（ポン使用時間） 演技時間の1/3以上				
●時間規則違反（入場退場） 入場の際、演技エリア内に入った時から演技が始まる前までの時間が30秒まで。 退場は速やかに				
2 ●ポンポン／アクセサリーを落とす	-1	-1		
3 ●入場/退場の際にアピールは可能だがジャンプ、アクロバティック動作は不可。	-5	-5	-2	-2
4 ●ラインオーバー	-5	-2	-5	-2
5 ●禁止事項 ・ポン以外の手具 ・ダンスリフト ・スタンツ ・タンブリング（倒立、バック転、飛び込み前転等） ・ピラミット ・アクロバティックな動作（お尻が肩を超える動作 ・チャント（チアリーディングのような声出し） ・他の選手の体のどの部分も飛びこえることは禁止	-10		-5	-5
6 ●安全でない振り付け 競技者同士の衝突（身体のどの部分に関係なく）	-5	-2	-5	-2
7 ●規定要素を実行していない（必要な規定要素は競技規則を参照）	-10		-5	
8 ●テクニックの規定要素の数が足りない（必要なテクニック規定要素の数は競技規則参照）	-5		-2	

8. 3. 2 アーバンチアダンス

シニア：S ジュニア2：J2 ジュニア1：J1

減点内容		S・J2	J1
1	●時間規則違反（演技時間） アーバンチアダンス：2分15秒～2分30秒以内	-10	-10
	●時間規則違反（ポン使用時間） アーバンチアダンス：30秒以上		
	●時間規則違反（入場退場） 入場の際、演技エリア内に入った時から演技が始まる前までの時間が30秒まで。 退場は速やかに	-5	-5
2	●ポンポン／アクセサリーを落とす（演技構成でポンを投げる動作は対象外）	-1	-1
3	●入場／退場の際にアピールは可能だがジャンプ、アクロバティック動作は不可。	-5	-5
4	●ラインオーバー	-5	-2
5	●禁止事項 ・ポン以外の手具 ・トス ・アクロバットな運動でパフォーマンスを開始または終了 ・チャント（チアリーディングのような声出し） ・他の選手の体のどの部分も飛びこえることは禁止	-10	-10
6	●安全でない振り付け 競技者同士の衝突（身体のどの部分に関係なく）	-5	-2
7	●規定要素を実行していない（必要な規定要素は競技規則を参照）	-10	-10
8	●テクニックの規定要素の数が足りない（必要なテクニック規定要素の数は競技規則参照）	-5	-5



【一般社団法人 全日本チアダンス連盟】

住 所：〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-1-2

JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE

TEL : 03-3401-6838 E-mail : info@ajcdf.or.jp

ホームページ : <http://www.ajcdf.or.jp>